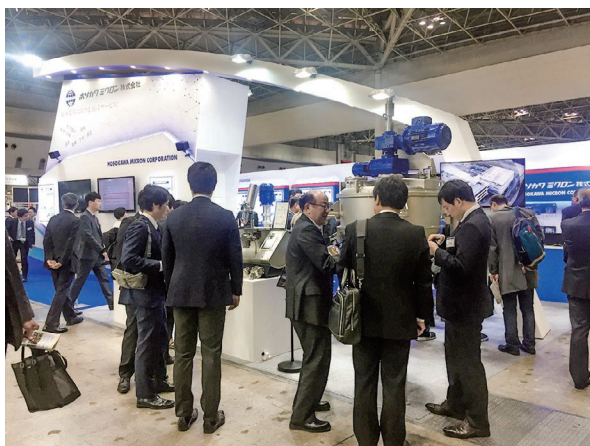


ニュース・年間行事 News・Annual Events

■ 2018 年

○ 11月28～30日「国際粉体工業展 東京2018」(於： 東京ビッグサイト(東京都/有明))に出展

「グローバル展開」をテーマに初出展となる新製品3機種を含むホソカワミクロングループの最新装置10機種を実機展示すると共に、粉碎から集塵、品質管理のための測定に至るまでの様々な単位操作に加え、粒子径制御、メンテナンスサービス、受託加工を含めたトータルソリューションを展示しました。今回は、新コンセプトのHOSOKAWA GEN4[®]、



「国際粉体工業展 東京 2018」での展示風景



「国際粉体工業展 東京 2018」での技術説明会風景

新製品の湿式ふるい分け装置ヴィブレット (VBL-F) および超微粉碎機カウンタジェットミル (AFG-CRS) を中心に、高速混合機バイトミックス (VX)、連続湿式造粒機フレキシミックス (FXD)、攪拌型凍結乾燥機アクティブフリーズドライヤ (AFD)、卓上型乾式粒子複合化装置ノビルタ (NOB-MINI)、小規模研究開発用卓上ラボ機ピコライン、浸透速度測定装置ペネトアナライザ (PNT-N)、粉体特性評価装置パウダテスタ (PT-X) を展示しました。また、クリーン化されたテストセンターをムービーで放映し、受託加工、受託測定、メンテナンスサービス等の事業および海外子会社が持つ主要技術について、実機とパネルによる展示を行いました。

また測定分析センターの笹邊センター長が「粉体リテラシーが求められる時代～IIoTもホソカワの技術がサポート～」をテーマに、最新の測定装置とIIoT技術であるHOSOKAWA GEN4[®]について発表を行いました。30日には、東京営業部の佐野次長が「粉体製造現場におけるワンランク上の環境改善」をテーマに、規制の再確認と粉体製造現場にマッチした封じ込め技術の実績、関連機器について発表を行いました。

■ 2019 年

○ 3月11日「平成30年度助成事業贈呈式」(於： ホソカワミクロン(株)本社本館12階大会議室 (大阪府/枚方))の開催

平成3年に当社細川益男前会長が創設した公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団は毎年、素晴らしい業績を挙げられた研究者に贈呈される「KONA賞」をはじめ、これまでに600名を超える研究者の方々に研究助成を行うとともに、大学院学生を対象とした若手研究者の育成や粉体関係の学会の開催援助などを実施し、粉体工学の振興を図ってまいりました。前年度は、全体で166件の応募に対して、選考委員による厳正な審査の結果、KONA賞1件、研



贈呈式風景

研究助成 19 件，研究者育成 10 件およびシンポジウム等の開催援助 1 件が採択され，褒賞金・助成金の総額は 1,990 万円（最終的に研究助成 1 名辞退により 1,900 万円）となりました。式典では，細川理事長挨拶，奥山常務理事の選考結果報告の後，助成対象者一人ひとりに，細川理事長から贈呈状が手渡されました。その後，本年度のシンポジウム等開催援助を受けられる粉体工学会の内藤牧男会長から受贈者を代表しての挨拶があり，続けて研究助成対象者，研究者育成対象者，主催者側から 1 名ずつによる粉体工学に関する興味深い講演が行われました。式典終了の後には，見学ツアー・懇親会などが行われました。参加者は，助成対象者・財団関係者など約 60 名でした。



贈呈式後の講演風景

○3月18日～20日 CPhI Japan 2019（国際医薬品原料・中間体展）（於：東京ビッグサイト（東京都／有明））に出展

当社は，営業パートナーの株式会社野村事務所（東京都港区，代表取締役社長 野村 生次）と共同で出展し，同社顧客および展示会来場者への当社 DDS（薬剤送達システム）技術受託研究の販売促進を図りました。展示ブース内では，当社 DDS 技術の特徴であるナノ化による組織・細胞への吸収性の改善や，放出制御や徐放化による薬効の持続性など，これまでの研究成果等を紹介しました。



平成 30 年度助成事業贈呈式記念写真



「CPhI Japan 2019」での展示風景

○4月9日～11日 POWTECH2019 (於: Exhibition Centre Nuremberg (ドイツ/ニュルンベルク))に出展

POWTECHは18カ月毎に開催され、化学、医薬、食品、セラミックスなど全産業分野に関わる、世界最大規模の粉体機器関連の見本市です。ホソカワミクロングループの欧州の代表三社(ホソカワアルピネ(HAAG:ドイツ)、ホソカワミクロンB.V.(HMBV:オランダ)とホソカワミクロンLtd.(HML:イギリス))が同展示会でグループ各社の最新技術及び製品を展示しました。



「POWTECH2019」での展示風景

○5月15日～17日 CITE Japan 2019 (第9回化粧品産業技術展) (於: パシフィコ横浜 (横浜市/西区))に出展

同展は、日本化粧品原料協会連合会が主催し、化粧品産業の発展に欠かせない分野の出展社が一堂に

会し、最新技術やサービスなどの展示と技術発表を行い、ユーザー企業である化粧品メーカーなどが情報をいち早く入手できる有意義な場となっています。当社は、独自PLGA技術によるあらゆる肌悩み解決へのアプローチとして、「シワ改善、毛穴ケア、ニキビケア」と「育毛技術」を中心に紹介しました。



「CITE Japan 2019」での展示風景

○7月1日【新製品】ホソカワミクロン育毛関連新商品「薬用ナノインパクト Co17」新発売

当社子会社のホソカワミクロン化粧品株式会社は、7月1日(月)から当社が研究開発を進める育毛ケア技術を応用した新商品を販売開始しました。現行の「ナノインパクト100」を土台とし、最新育毛理論となる「加齢に伴う毛包幹細胞/17型コラーゲンの欠乏が薄毛に関与する」メカニズムに基づき、外部からの供給では効果の出ない17型コラーゲンを毛包内で毛包幹細胞自ら産生促進させることで最新の育毛環境を整える商品を開発しました。

毛包幹細胞へアプローチする機能成分として、新たに「ゴボウエキス」「マヨラナエキス」「コーヒー



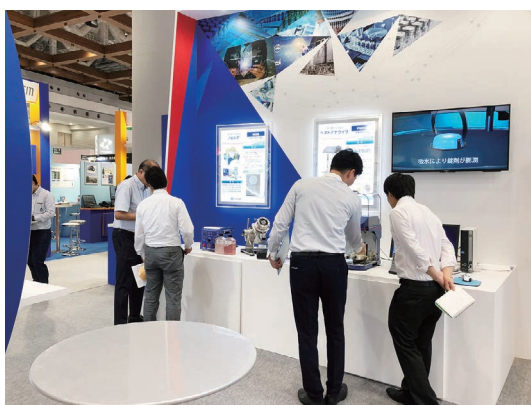
薬用ナノインパクト Co17 薬用
ナノインパクト Co17 レディ

トピックス

エキス」を配合し、計45種類の成分により機能強化を図り、より高い効果を期待できます。また、PLGA ナノ粒子の配合数を従来比2割増させるとともに、粒子製造技術の向上により、成分の徐放性能が従来比2倍の24時間へと向上しました。

○7月3日～5日「第21回インターフェックス ジャパン」(於：東京ビッグサイト (東京都/有明) に出展

「@改善に応えるグローバルパワー」をテーマに、新コンセプトである粉体工業用IIoTサービス HOSOKAWA GEN4[®]をはじめ、ホソカワミクロングループの最新装置を実機展示すると共に、粉体加工プロセスを一連のフロー形式で、粉砕処理から品質管理に至るまでの全ての単位操作に加え、粒子径制御、メンテナンスサービス、受託加工まで含めた当社グループが誇る「ホソカワのトータルソリューション」を国内外の納入事例などを交え展示しました。今回、実機展示機種には、オンライン粒子径分布測定機オプティサイザXO、混合機サイクロミックスCLX、乾式粒子複合化ノビルタミニNOB-MINI、小規模研究開発用卓上ラボ機ピコラインPICOLINE[®]、ぬれ性測定機ペネトアナライザPNT-Nなどの最新型が含まれました。



「第21回インターフェックス ジャパン」での展示風景

○7月5日ブラジルにおける受託加工会社の設立を発表

当社は、欧州グループ会社を通じて、化学・鉱業・金属・食品市場で空気輸送関連システムの製造販売およびエンジニアリングを主業とするダイナミックエアールtda. Brazil (以下 DAB) との合同出資によ

り、ブラジル・サンパウロ近郊に各種粉体原料の受託加工会社「SAPS Ltda. (アドバンスト・ソリッズ・プロセッシング・ソリューションズ社)」を設立し、このほど操業を開始しましたのでお知らせいたします。事業内容は各種粉体原料の受託加工(粉砕、分級等)を中心に、化学、食品、高機能ポリマー、ファインミネラル等の高付加価値原料加工および冷凍粉砕加工等の受託加工分野に重点を置いた展開を目指します。DABはブラジルを拠点に当社グループ会社製品をブラジルおよび周辺国向けに販売する代理店であり、自社内に最先端の当社主力粉体処理装置や各種測定装置を設置し、お客様のニーズに応じた受託加工サービスにより、高付加価値製品を提供いたします。DABの持つ既存顧客や該当市場での販売網を活かし、当事業に参入することにより受託加工事業の規模拡大と当社グループ製品の拡販に繋げていく方針です。



SAPS Ltda. (アドバンスト・ソリッズ・プロセッシング・ソリューションズ社) 全貌

○9月18日「第26回 ホソカワ粉体工学シンポジウム」(於：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス学術交流会館 (大阪府堺市中区) の開催

粉体技術談話会主催、ホソカワ粉体工学振興財団共催の第26回ホソカワ粉体工学シンポジウムが開催され、「快適な日常生活を支える粉体工学」をテーマとして、4件の講演があり、活発な討議が行われました。講演会には130名の参加があり、外国人研究者からの質問に対する英語での熱の入ったディスカッションを含め、いずれの講演についても活発な質疑応答が行われました。講演会の後、主に大学外からの参加者を対象として見学会が行われ、4つのグループに分かれて、化学工学分野、材料工学分野、応用化学分野などの見学が行われました。



「第 26 回 ホソカワ粉体工学シンポジウム」の講演風景



「第 53 回粉体工学に関する講演討論会」の講演風景



研究室見学風景

その後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、各講師と来場者間で有意義な交流が行われました。

○ 10 月 1 日タイ販売子会社 現地法人設立を発表

当社は、東南アジア市場戦略の一環として、昨年 2018 年 10 月にタイ駐在員事務所を設置し、現地法人設立に向けた調査・準備を進めてきましたが、このたび現地法人化し、Hosokawa Micron (Thailand) Co., Ltd. を設立することを決定しました。当社は、成長著しい東南アジアを重要市場と位置づけており、タイ販売子会社設立により、同地域に粉体関連装置の販売、および部品・修理・改造等のアフターセールスの体制を強化し、今後は、より現地顧客に密着した迅速な営業展開を推進していく方針です。

○ 10 月 7 日「第 53 回粉体工学に関する講演討論会」

(於：ホテル日航大阪 (大阪市中央区) の開催

当講演討論会は、粉体技術談話会の企画のもとに公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団 (理事長

細川悦男) が主催して開催されるもので、「高度化する粉体プロセスの基礎と応用の最前線」をテーマとして、2018 年度 KONA 賞受賞講演を含み、さまざまな材料の粉体プロセスに関わる粒子製作・加工技術の最前線について、6 氏の方からご講演がありました。講演討論会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。講演会の来場者数は 180 名を超え、会場は満杯状態となりました。

○ 10 月 9 日～11 日「BioJapan2019」(於：パシフィコ横浜 (横浜/西区)) に出席

当イベントは、バイオビジネスにおけるアジア最大規模の展示会兼パートナーングイベントであり、営業パートナーの株式会社野村事務所と連携し、多く来場されたバイオ関連企業および研究者に当社の DDS (薬物送達システム) 受託研究事業をはじめ、化粧品および育毛剤を出展しました。



「BioJapan2019」での展示風景